

大使館安全情報  
【邦人被害強盗事件に伴う注意喚起②】

2015. 5. 18

在アルゼンチン日本国大使館  
警備対策官兼副領事

## 「路上ピストル強盗被害」

【日時】2015年5月17日(日)16:30頃

【場所】ブエノスアイレス市パレルモ地区、

Av. Federico Lacroze 1900付近の道路上

【被害】腕時計2個

【怪我】なし

【概要】

当地に駐在する邦人家族(夫、妻、子供2人)が、職場の出張者と計5名で当該道路をAv. Cabildo方向へ歩行中、バイクに乗った2人組の男に襲われた。

男たちは20代後半くらいの若者で、一方通行の道路をバイクで逆走して後方から近づき、銃を持った一人が突然、被害者の**子供に銃を突きつけ**、「その時計をよこせ。」と脅してきた。被害者夫妻は**両手を挙げ、抵抗することなく**、その場で腕時計を男に手渡した。すると、男はすぐにバイクに乗り込み、逃走した。被害者夫妻及び子供に怪我はなかった。

# 被害位置図



# 現場周辺図

## ～現場の状況～

③ 被害者は両手を挙げて無抵抗の意思を示しつつ時計を渡すと、強盗はバイクに乗り逃走した。

住宅地

バイクに乗った男

② 銃を持った男が突然、子供に銃を突きつけ「時計を渡せ」と脅迫

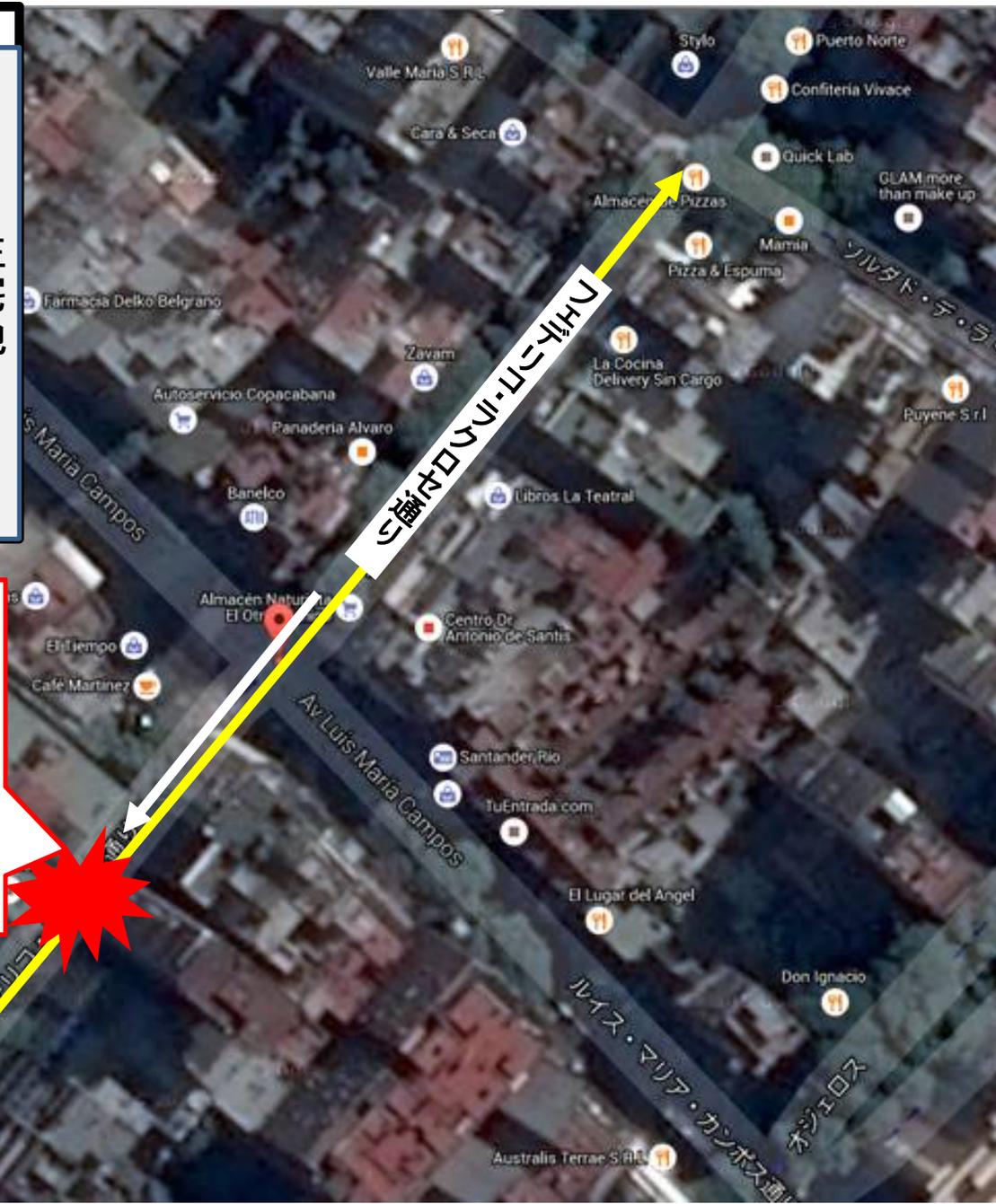
① 後方からバイクが逆走して被害者に近づく。

● 被害者一行  
● 強盗

フェデリコ・ラクローセ通り  
道路通行方向

住宅地

事件の起きた時間帯は夕方4時半頃で、明るい時間だったが人通りは少なかった。また、被害に遭う数分前に、同じ通りで別の被害者(アルゼンチン人)が同様の手口で強盗に遭っていたとのことだった。



## 現場周辺写真



【フェデリコ・ラクロセ通り1930付近】

比較的車の交通量もある普通の通りに見えるが、**日中でも人通りが殆どない時間帯もある**。街路樹の影響もあり、昼間でも場所によってはやや薄暗い印象を受ける。

【フェデリコ・ラクロセ通り1980付近】

通りには学校もあるが、道路に面した入り口部は鉄格子で覆われており、警備員も常駐している。



## 教訓事項等

### 【事件当時の細部状況等】

- 被害に遭った時間は午後4時30分頃であり、**明るい時間帯の犯行**だった。
- 数分前に同じ道路を歩いていた**アルゼンチン人親子も同じ被害**に遭っていた。
- 当初被害者は財布を渡そうとしたが、強盗はこれを盗らず**腕時計を要求した**。  
(**高価な時計に狙いを定めていた可能性**)
- 強盗が現れてから立ち去るまで、ものの**1～2分という短時間の犯行**だった。
- 5名という**比較的多くの人数**で歩いていたにも関わらず被害に遭った。

### 【再発防止策】

- 日中の明るい時間帯であっても、**早朝や午後の人通りが少ない場合は特に注意**。
- 普段から、周囲の状況に気を配る癖を付ける。(定期的に後方を振り返る等)
- **低速で走る2人乗りのバイクには要注意**。(ターゲットを物色している可能性もある。)
- 複数名で行動していても油断しない。(特に、**女性や子供はターゲットにされやすい**。)
- 万が一強盗に遭ってしまっても、**決して抵抗しない**。(人命を最優先)

### 【警備対策官コメント】

本事件は、日中の**明るい時間帯**、且つ、**比較的多くの人数**で行動していたにも関わらず被害に遭われたものです。同地域で連続した被害が出ていることから、同一犯による犯行と考えられます。**たとえ通い慣れたいつもの道であっても、周囲への注意は怠らず、警戒している態度を見せることで、強盗のターゲットとなる可能性を減らすことが出来ます**。一般に強盗は銃器を所持しているものと考えべきであり、万が一襲われた際には、**両手をあげ、決して抵抗しないのが鉄則**です。また、自ら財布を取り出す等、**抵抗と勘違いされる動作(銃を取り出すと勘違いされる)**も決してしないことも重要です。

## 【参考記事】

Temor

## Preocupan en Belgrano y Palermo los continuos ataques de motochorros

Los vecinos del límite entre ambos barrios afirman que los robos son habituales; como consecuencia de la situación se reforzó la presencia policial

Por Juan Landa | LA NACION

Comentá 250 Facebook 34 Twitter 32 +



Una oficial de la Policía Federal en Av. del Libertador y Lacroze. Foto: LA NACION / Ricardo Pristupluk

Con temor y preocupación. Así viven en las últimas semanas los vecinos y comerciantes de la zona comprendida por las avenidas Del Libertador y Luis María Campos y las calles Zabala y Newbery, en el límite entre Palermo y Belgrano, donde en los meses recientes una sucesión de robos y arrebatos, mayormente liderados por motochorros, se han vuelto moneda corriente.

El martes 6 de este mes, pasadas las 19, en la esquina de Libertador y Lacroze, dos jóvenes de unos 15 años aprovecharon un embotellamiento en el tránsito para asaltar al marido y a las dos

hijas de la periodista Romina Manguel. Horas antes, a las 15, a dos cuadras de allí, en el bulevar Olleros, dos motochorros se tirotearon con la policía luego de un intento de salidera a un hombre que había retirado dinero de un banco de la zona.

En ninguno de los casos hubo víctimas. Pero ambos hechos trajeron a la memoria la mañana del 30 de julio del año pasado, cuando Pablo Tonello fue asesinado a balazos en Libertador y Lacroze. El joven de 27 años circulaba en bicicleta y un delincuente le disparó tres tiros, uno de ellos en la cabeza, para intentar robarle el rodado.

Desde aquel día, para evitar situaciones similares, la seguridad en la zona se fortaleció. Unos 15 oficiales de la Policía Federal, en autos, motos y cuatriciclos, recorren esas manzanas a diario. Y hay un miembro fijo de la fuerza por cada cuadra de la avenida del Libertador, desde la salida del viaducto hasta la entrada del Hipódromo de Palermo.

Sin embargo, dicen quienes andan por esas calles a diario, el operativo no es suficiente. Vecinos y comerciantes del barrio dijeron a LA NACION que es habitual que en la zona haya arrebatos de motochorros en las esquinas, en las mesas de los bares y en los embotellamientos de vehículos que se generan en los semáforos de Libertador y Luis María Campos.

"Se vive con miedo. Intranquilos. No queda otra que moverse con bajo perfil. Salir lo mínimo e indispensable. Los delincuentes saben que ésta es una zona de gente con plata y que la seguridad es escasa", comentó Carlos, que vive sobre la calle Teodoro García.

Los históricos habitantes de esa zona de Palermo, prácticamente en el límite con Belgrano, aseguran que en los últimos años el barrio cambió radicalmente. Que ya no existe esa tranquilidad que distinguía a ese entorno. Y que cuando caen el sol y las persianas de los comerciantes, con menos presencia policial, la zona queda "liberada".

Desde hace 23 años Viviana vive en Soldado de la Independencia, entre Zabala y Virrey Loreto. "Dejó de ser el barrio de antes. Ya no ves tantas caras conocidas. Por las noches está desolado y no se puede caminar en paz. Hoy tenés que estar atento a todo, todo el tiempo."

"Vivimos con terror y pendientes de lo que pasa. Y eso que se ven policías. Después de las 19 prefiero no salir a la calle", contó Ethel, otra vecina. "Muchos vecinos están atemorizados. Acá vive mucha gente mayor, que le cuesta hacer como que no pasa nada. Hay presencia policial, pero cuando oscurece y todo cierra muchos vecinos se guardan en sus casas", explicó Vicente, encargado de un edificio sobre Olleros.

### 「後を絶たないベルグラノー・パレルモ地区でのモトクロス強盗に危惧」（2015年5月18日付ラ・ナシオン紙電子版）

パレルモ地区とベルグラノー地区の境界に住む住民によると、強盗は頻繁に発生しており、この事態を受けて警官配置などの警備強化が行われた。

#### 【記事概要】

パレルモ地区とベルグラノー地区の境界 (LIBERTADOR大通りとLUIS MARIA CAMPO大通り間、ZABALA通りとNEWBERRY通り間)に住む住民や商人らは、ここ数ヶ月立て続けに発生している、モトクロスによる引っかけりや強盗に不安と恐怖を感じている。

今月6日の19時頃、LIBERTADOR大通りとLACROZE通りの交差点で、15歳くらいの少年2人が、渋滞で止まっていた車両を襲った。同日15時頃、この現場から2ブロック離れたところでも、銀行から出た男性を襲った2人組のモトクロスと警察が銃撃戦を繰り広げた。両事件とも負傷者はいなかったが、昨年7月30日に自転車車を盗もうとした男に抵抗して殺された27歳男性の強盗殺人事件を想起させる。

7月の事件以降、約15人の警官が、バイク、パトカーやバギーなどで同地区を毎日巡回している。さらに、LIBERTADOR大通りのトンネルからパレルモの競馬場の入口まで、それぞれのブロックに警官を1名を配置している。しかしながら、毎日通行している人々によれば不十分であるという。

この地域の住民や商人によると、交差点や歩道に出ているバーのテーブルなどでも、モトクロスによる犯行は頻繁に発生している。昔から住む住民によると、日が暮れるとともに、店のシャッターも閉まり、警察がいなくなると無法地帯になるという。19時以降は、家から出ないように心がけている住民もいる。

## おわりに

今回の安全情報についても、被害に遭われた方から積極的に情報提供していただいた事により、詳細な情報を広く周知することができました。心より感謝申し上げます。

大使館としましては、引き続き治安関係情報の収集に努めるとともに、皆様の安全に関わる情報について広く共有していきたいと考えております。

つきましては、被害の有無にかかわらず、邦人の安全に関わる情報がありましたら、大使館までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(※ 特に、ブエノスアイレス郊外における危険地域(ビジャ情報や強盗多発地域情報等)に関する情報がありましたらご一報いただけますと幸甚です。)

### 【大使館連絡先】

- 大使館代表  
電話番号：(54-11)4318-8200    メール：taishikan@bn.mofa.go.jp
- 大使館領事部  
電話番号：(54-11)4328-8220    メール：conbsas@bn.mofa.go.jp
- 竹熊警備対策官兼副領事  
電話番号：(54-15)5327-0217    メール：kenichiro.takekuma@mofa.go.jp